

守屋は まちの大工さん!

住まいのことで気になることは
何でもご相談を

ベランダ周りは雨漏りする 可能性の高い場所です

ベランダ周りは、雨漏りをする可能性が高い場所です。

外観上、問題があるとは思えないベランダですが、中を開けてみたら骨組みまでボロボロ...ということがあります。

こちらの現場では、床が部分的にフカフカしていたので、思い切って壁や床を剥がして作業をさせて頂きました。

剥がした結果、広範囲に渡り木材が腐食して骨組みまで痛んでおり、とても危険な状態でした。お客様の日常生活も、私共の解体作業も、この上に乗ってしていたのかと思うとゾッとします。

再利用するテラス屋根を一時撤去し、立上りの壁・床と順に解体し、木部の傷んでいるところは撤去し、骨組みを補強しながら新しく下地をやり替え、防水・左官・塗装と復旧作業を進めます。ベランダ立ち上がりの形状は、三角形の開口をなくし、シンプルな立ち上がり壁で復旧することで、雨水が入りにくいようにしました。

1度や2度の雨漏りでは木材が腐ることはありませんが、ちょっとした異変に気付かずそのままにしていたり、メンテナンスをせずに雨漏りを放置すると、予想外の大工事となってしまいます。点検させて頂きますので、お気軽にご連絡ください。

BEFORE



AFTER

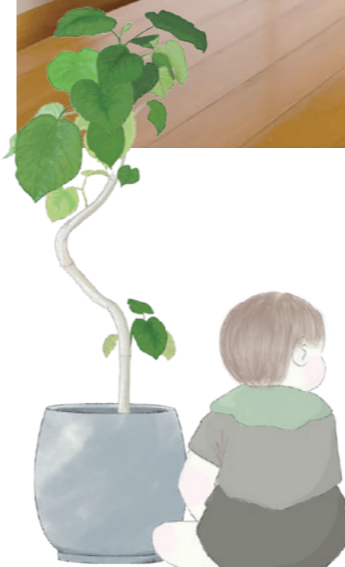
こんな時にも
お役に
たちます!

No.66 2026.5 通信

— 住まいの玉手箱 —



自然素材を大切にした若い家族の家



「健やかに」「永久の幸せ」といった花言葉がある、
ウンベラータを描きました

掲示板

2026/6/6(土)

地域感謝デー

9:00~11:30

今年も包丁研ぎを実施いたします



(株)守屋工務店

〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL 042-322-5438

E-mail: info@moriyakoumuten.com

http://www.moriyakoumuten.com

玄関アプローチ

あたたかみと柔らかさの風合いある大谷石のアプローチ。

新築

自然環境、自然素材…
体に触れる素材の感覚を
大事にする若い家族の住まい

外観 そとん壁の質感に写る植物の陰影がきれい。



洗面脱衣所

丸い鏡の上にはお魚の置物。
見せる収納など生活感が気持ちいい。

ダイニングキッチン

緑色のタイルがきれいな造作キッチン。

お施主様コメント



なるべく自然素材のものを使用し、緑を育み、小さな家でも自分達らしい暮らしが出来ればと思っておりました。最初からあまり作り込まずに、暮らしに応じて形を変えながら住んでいける住宅にしてくださいました。実際に暮らすと心地良いです。

建設中も「こうしたらもっとこうなるのでは？」と、住む側の視点に立ったアドバイスをくださりとても嬉しかったです。住み始めてみると「もっとこうしたい」と思う点もあり、また守屋工務店さんにぜひお願いしたいと思います。そう思える素敵な出会いに感謝しております。

設計士コメント

土地探しから始まり、ご夫婦の想いをゆっくりと会話を重ねながらお聞きし、ひとつずつ素材選びをしてきました。土地の条件、周辺環境、日差しへの意識、お施主さまによる庭作り。そして、暮らしに馴染む外壁の“そとん壁”の素材感と色合い。いつかは土に還る素材。普通でありながら、見えないこだわりが詰まった空間となりました。作家性よりも、ご夫婦らしい生活感が漂う空間が感じ、シンプルで作り込まない心地よさを意識しました。家族が増え、穏やかで豊かな時間が流れ、窓から見える植栽の成長と共に、住まいも深まっていくことなのでしょう。このような機会をいただきましたお施主様、丁寧に作ってくださった守屋工務店の皆様に心から感謝しております。

アトリエムスタ設計室 黒澤彰夫

みんなのゴラム

忘れ物、失くし物



社長
もりや



忘れ物のエピソードは数知れず…。お気に入りの傘をお店に忘れて取りに戻ったことや、傘をバスの車内に忘れて、保管場所の営業所まで別のバスに乗って取りに行ったこともあります。「人に迷惑を掛けないでね」と言って子どもを育てておきながら、まったく情けないことです。急いでいたり、慌てると顕著になるので、ゆったりした気持ちで、事前の準備の必要や気持ちに余裕を持つことの大切さを感じる今日この頃です。



経理 とよだ

あ!!財布が無い。今から数十年前のこと。田舎からの帰りに高速道路の料金所で料金を支払い、車のシートと身体の間財布を置き、それに気付かず車から降りる時に財布を落としたようだ。翌朝になってバッグの中に財布が無いことに気付き、駐車場に行ってみたが時すでに遅し。財布には免許証も入っていた。踏んだり蹴ったりとはこの事だ。それから色々な手続きでかなり大変な思いをした。最近では年のせいか、失くし物をする事がよくあるので気を付けたいものだ。



現場担当 おおもり

忘れ物ではないのですが、現場に必要な道具を大型ホームセンターに買い物に行った時のことです。大きな駐車場に停めて、ちょっと急いでいたので目的の道具をさっさと購入し駐車場に戻りました。確かこの辺に停めたはずと思ったのですが、自分の車が見つかりません。広大な駐車場を何度もグルグル廻ったのですが、目立つはずのロゴの入った軽バンがどこにもありません。そのうち日が暮れてしまい、だんだん車の数が減ってきた時思い出しました。車検に出して代車に乗って来たことを…



大工さんのある話ですが、小屋裏や床下の狭く薄暗い所での作業で失くし物がたまにあります。小屋裏での窮屈な作業で壁の中に玄翁を落としてしまったとか。そこに落ちているのはわかっているのに取り出す事はできず、「壁を壊さしてください!!」って喉元まで出かけるけど我慢して壁の中に落ちたままのようです。玄翁のように毎日使っていた思い入れのある道具だと相当悔しいようで、誰々さん宅の壁の中に未だに眠っているはずだよ〜と、悔しい思い出は絶対忘れないみたいです。



現場監理
たちばな



現場監理
かさはら

私の忘れ物遍歴の中で、一番大きな物は『自転車』です。あのサイズの物をどうやって忘れたのかというと、近所のコンビニに自転車で行ったのに、それを忘れて徒歩で帰宅してしまったのです。そして翌日、出かけようとして自転車置き場に行くと…自転車がない! その時点では、自分が忘れて帰宅したことを忘れていたので(え、盗まれちゃったの?)と焦りました。しばらくして思い出したのですが、一瞬でも人を疑った自分を大いに反省しました。

